

一般廃棄物処理施設用地選定方針の概要

1 用地選定方針の策定目的

令和 14（2032）年度供用開始を目標とする一般廃棄物処理施設の整備にあたり、各施設の特徴や規模、西部圏域の社会特性などを踏まえたうえで、経済性や環境保全性、防災性等について総合的に有効となる建設用地を選定するため、基本的な方針を定めるものである。

2 候補地の抽出条件

(1) 基本構想に基づく施設整備の考え方

- ・ 可燃ごみ処理施設、不燃ごみ処理施設及び最終処分場を各 1 施設整備する。
- ・ 中間処理施設（可燃ごみ処理施設及び不燃ごみ処理施設）は一体化を目指す。
- ・ 最終処分場は、中間処理施設と同一敷地内又は近隣での設置を目指す。

(2) 整備が必要な施設の概要

整備施設	可燃ごみ処理施設	不燃ごみ処理施設	最終処分場
施設規模	230～250 t / 日	40～43 t / 日 〔25～26 t / 日〕 (古紙類除)	43,000～217,000m ³ 〔43,000～45,000m ³ 〕 (焼却残渣除)
処理対象物	可燃ごみ、可燃物	資源ごみ、不燃ごみ、 粗大ごみ	焼却残渣、不燃物
有効敷地面積 (目安)	約 22,000m ² 以上 (150m×150m)		約 35,000m ² 以上 (250m×140m)

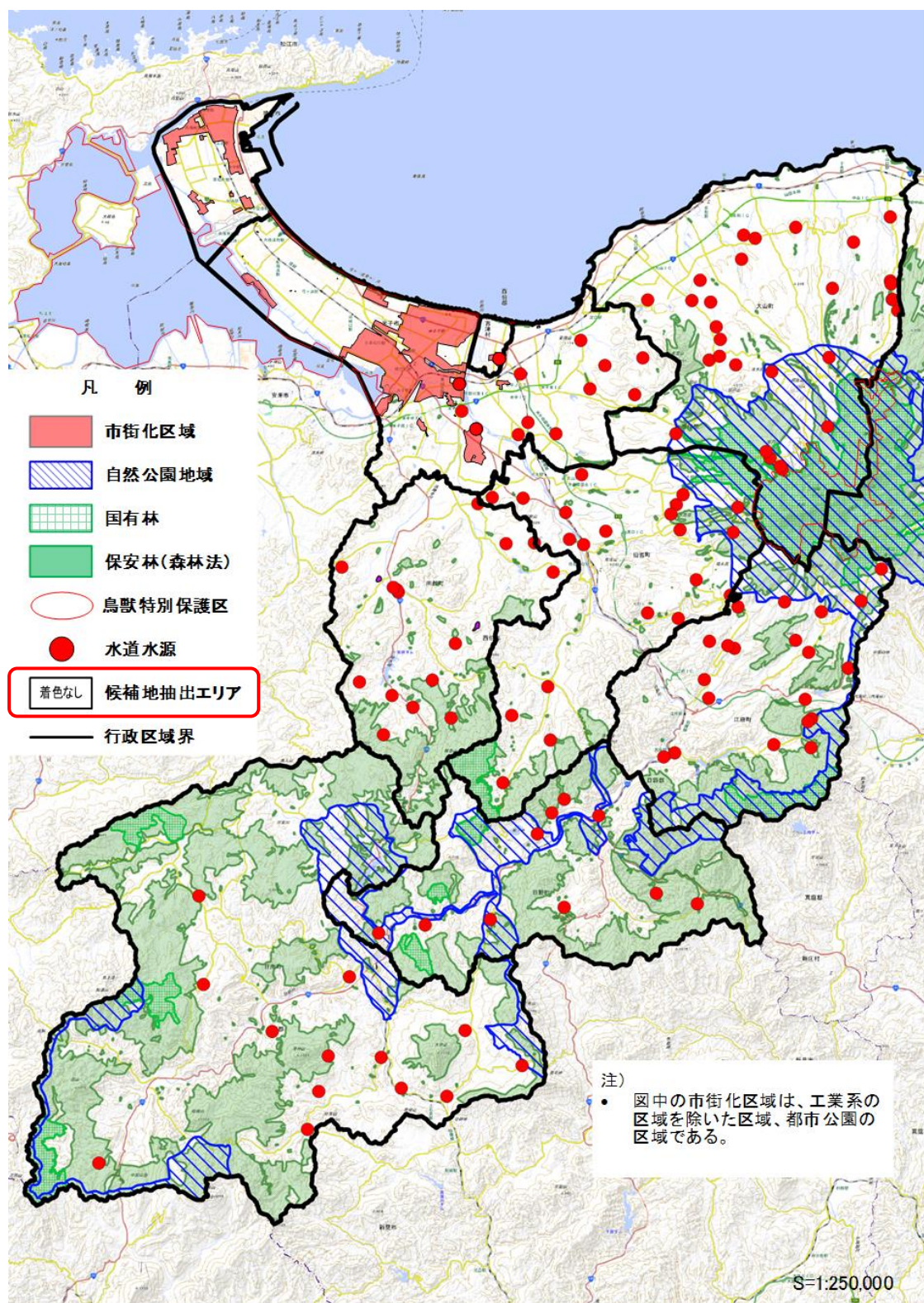
(3) 施設別抽出条件

整備施設	可燃ごみ処理施設 不燃ごみ処理施設	最終処分場
抽出対象 市町村	米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、 伯耆町 ※ 1 施設集約のコストメリットを比較 検討した結果による。	米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、 伯耆町、日南町、日野町、江府町 (鳥取県西部圏域全域)
インフラ	1 日 200m ³ 以上の水道（上水あるいは工水）の供給が可能である給水エリアあるいはその近傍であること。	抽出条件としない。 なお、抽出後に行う一次調査(個別調査)において、比較検討を行う。
環境保全	施設から 300m以内に学校・病院・住宅群がないこと。	
防 災	既知の鳥取県西部地震断層及び鎌倉山南方活断層の直上でないこと。	
有効敷地面積	約 22,000m ² (150m×150m) 以上	約 35,000m ² (250m×140m) 以上

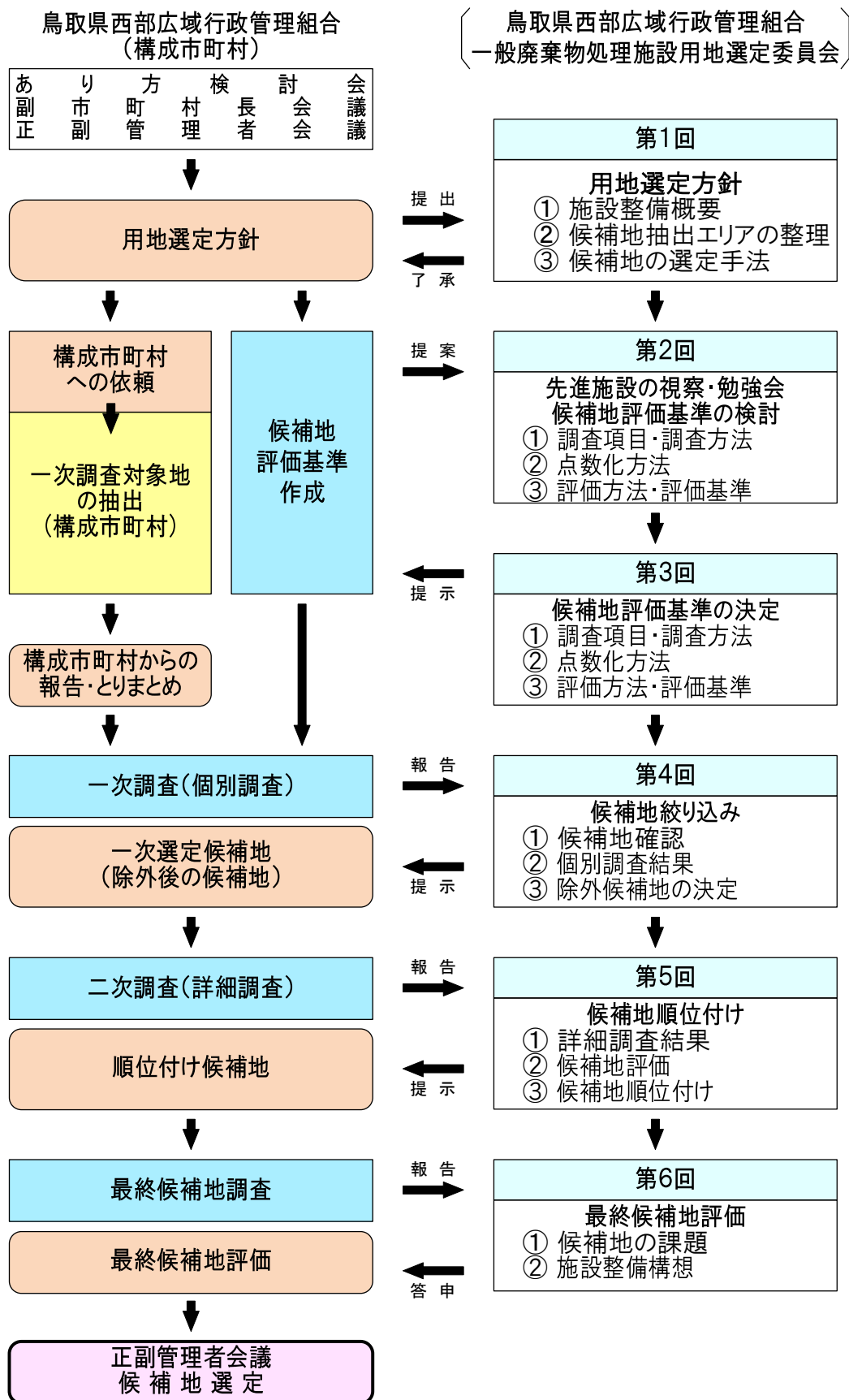
3 候補地の抽出に適さない地域

法的規制を受けている地域	市街化区域、(工業地域、準工業地域及び工業専用地域を除く)、公園・緑地、保安林地域、自然公園、鳥獣特別保護区、指定文化財等
物理的制約条件のある地域	水道水源に近接する地域及び直上流域(最終処分場の立地に限る。)

4 候補地抽出エリア(候補地の抽出に適さない地域を除いたエリア)



5 用地選定フロー案



※ 正副管理者会議へ中間報告を行いながら進めるものとする。

6 候補地調査方法及び主な調査内容(案)

- ・ 候補地調査は、一次調査（個別調査）と二次調査（詳細調査）を実施する。
- ・ 二次調査（詳細調査）は、一次調査（個別調査）の結果により、適性が低い候補地を除外した一次選定候補地について実施する。

調査名	主な調査内容（案）
一次調査 （個別調査）	①候補地概要 ・ 地形、地質条件の調査（標高差・谷勾配等） ②環境保全性(社会的条件) ・ 周辺土地利用、下流側河川等の調査（学校・病院の離隔距離、水質等） ③環境保全性(自然的条件) ・ 貴重種の生息環境の調査（鳥獣保護区の指定状況等） ④防災性 ・ 防災対策の条件となる法規制等の調査（土砂災害警戒区域の指定状況等） ⑤事業実効性 ・ 土地利用規制等の調査（農業・森林地域等の解除手続き等による事業遅延の要因等） ⑥経済性 ・ 運搬効率、施設整備費の調査（収集運搬費、水道・電気等の整備費）
二次調査 （詳細調査）	①経済性（敷地造成計画図作成による敷地造成費・搬入道路敷設費等の調査） ②事業実効性（想定事業区域における土地調書の作成、用地費の算定等） ③地域貢献策（候補地の特性、先進自治体の事例を踏まえた地域貢献策の検討） ④財源検討（交付金・起債等財源の検討、一般財源や起債償還額等の算定等） ⑤施設整備スケジュール（敷地造成計画図、施設配置計画図による工事量等から、施設整備スケジュールを検討）

7 最終候補地調査

- ・ 一次調査（個別調査）及び二次調査（詳細調査）の結果を基に候補地の総合評価を行い、順位が1位となった候補地について、候補地確認調査を行う。
- ・ 候補地確認調査により、施設整備を行うことが有効であると評価できる場合は、当該候補地を最終候補地とし、環境影響予測等予備調査を行う。
- ・ 最終候補地については、候補地の一次調査（個別調査）、二次調査（詳細調査）、候補地確認調査、環境影響予測等予備調査を踏まえたうえで、施設整備構想案を作成する。

8 用地選定委員会の開催スケジュール

会議	開催日（予定）	会議の内容
第1回	R3. 8. 25	諮問、用地選定方針、事例紹介
第2回	R3. 9 下旬	先進施設の視察（中間処理施設、最終処分場）、評価基準案の検討
第3回	R3. 12 月上旬	評価基準の決定
第4回	R4. 3 中旬	個別調査結果による候補地絞り込み（一次選定）
第5回	R4. 6 中旬	詳細調査結果による候補地順位付け
第6回	R4. 8 下旬	最終候補地調査による最終候補地評価